

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 佐渡市高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施連携会議
開催日時	令和6年3月21日(木) 13時30分開会 15時10分閉会
場 所	佐渡市役所 大会議室
議 題	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>参加者 (公務員除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体8名 (公務員)</li> <li>・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部地域保健課 課長代理 中川 圭子</li> <li>・佐渡市市民生活部 健康医療対策課 課長 兵庫 研司</li> <li>・佐渡市社会福祉部 社会福祉課 課長 知本 政則</li> <li>・佐渡市社会福祉部 高齢福祉課 課長 出崎 弘美</li> <li>・佐渡市地域振興部 地域づくり課 課長 遠藤 隆行</li> <li>・佐渡市教育委員会 社会教育課 課長 市橋 秀紀</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市市民生活部 市民課 課長 計良 好昭</li> <li>・佐渡市社会福祉部 社会福祉課 総合福祉相談支援センター 主任保健師 廣嶋 里美</li> <li>・佐渡市社会福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係 主任保健師 鶴間 利恵</li> <li>・佐渡市両津支所 福祉保健係 主任保健師 石塚 秀美</li> <li>・佐渡市羽茂支所 福祉保健係 係長 海老名美香</li> <li>・佐渡市市民生活部 市民課 保険年金係 調査員 中川 孝文</li> <li>・佐渡市市民生活部 市民課 保険年金係 主任保健師 中川美和子</li> </ul>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 No. 1 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施連携会議について」</li> <li>・資料 No. 2 「佐渡市高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について(令和5年度事業報告)」</li> <li>・資料 No. 3-1 「健康・医療・介護情報等の分析に基づく健康課題」</li> <li>・資料 No. 3-2 「令和6年度 佐渡市高齢者の保健事業との介護予防等の一体的実施要領(案)」</li> </ul>
傍聴人の数	0人
報道機関	株式会社佐渡テレビジョン
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
市民課長	<p>1. 開会のあいさつ</p> <p>この事業につきましては、高齢者の健康寿命延伸を目的に、令和4年度に相川地区でスタートし、令和5年度からは佐渡全域に範囲を拡大して実施しております。高齢者の心身の健康課題に対応してきめ細かな支援を実施するために、行政関係者、医療・福祉関係の皆様と様々な形で連携しながら取組みを進めているものです。事業を進めていく中で見えてきた課題等を皆様と共用し、6年度の実施方針について、意見交換してまいりたいと考えております。会議の終了時間は午後3時を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(座長選出へ)</p> <p>座長には健康医療対策課課長を選出 (座長より進行)</p>
保険年金係調査員	<p>2. 説明</p> <p>(1) 事業概要説明「佐渡市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施連携会議について」 資料 No. 1 により説明。</p>
保険年金係主任保健師	<p>(2) 説明「令和5年度事業報告（進捗状況）」 パワーポイント資料により説明。</p>
委員B氏	<p>(1) 質疑なし (2) 質疑あり</p> <p>フレイル相談事業について、資料では%で表示されているが、人数がわかったら教えていただきたい。</p>
保険年金係主任保健師	<p>今年度相談受けていただいた方が全部で537人います。うち包括センターの指導を受けた方225人、栄養指導を受けた方169人、口腔指導を受けた方が224人となります。(複数で受けている方含む)</p>
保険年金係調査員	<p>(3) 令和6年度基本方針について 資料 No. 3-1、3-2 により説明。</p>
委員A氏	<p>質疑あり</p> <p>資料No. 3-1のデータ分析による健康課題について(課題の要旨) 「高血圧、高血圧由来の疾患の医療費が高額となっている」と記載</p>

<p>保険年金係調査員</p>	<p>されているが、(基本方針では) 年々減少していることになっているが、実際のところ経年でみるとどうなっているのか。</p> <p>佐渡市全域の後期高齢者における医療給付費については増加傾向にあります。</p> <p>(訂正)</p> <p>質問に対しての回答になっておりませんでしたので、疾病別の医療費の傾向については再度確認させてください。</p> <p>(基本方針を見ると) 高血圧症の医療費については年々減少傾向にあります。疾病別で見ると比較的高い水準を示している為、引き続き健康課題として挙げました。</p>
<p>地域づくり課長</p>	<p>事業報告では、体重変化のみ説明があったが、資料No.3-2(別紙)の評価指標では評価項目が多くなっているが追加したのか。評価指標・目標に対しての実績はあるのか。前年度との比較が見えないので、毎年比較できると良いのでは。現状値と目標数値があると良い。</p>
<p>保険年金係主任保健師</p>	<p>栄養士からはデータをいただいている。令和4年度は相川圏域のみだったので、相川圏域での比較はできる。</p>
<p>保険年金係調査員</p>	<p>令和5年度から全5圏域に拡充しており、今年度の実績も固まっていない状況です。ただ、同じ評価指標を設定し経年で比較できるように見える化を意識したアウトカム・アウトプット評価を作成していきたいと考えております。</p>
<p>保険年金係主任保健師</p>	<p>3. 意見交換「地域で、現在の職場(担当)で、フレイルを予防するために考えられること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①すでに実施していること</li> <li>②できそうなこと(個人で、活動で、事業で)</li> <li>③他機関と連携がとれると、さらに活動がしやすくなると考えられること</li> </ul> <p>参加者の皆様より、一言ずつご意見などをお願い致します。</p> <p>(保険年金係主任保健師より進行)</p>
<p>委員A氏</p>	<p>・介護予防事業の成果が少しずつ出ているのではとの印象を持つ。食べる、歩くことが落ちるとフレイルから介護へと目立つ。プラスして認知症をどうするか課題がある。食べない、歩かないに認知が絡み、興味がない、介護に入ってしまう。それを抑えるため、フレイルをどう抑えるか。大きく変化しなくても、現状維持できることが役割ではないか。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺炎が減少、医療費が減っている。介護のレベルが上がり、誤嚥性肺炎が改善しているのでは。老衰の死亡が多く、病気ではなく死亡する。それは、高血圧や糖尿病が減少しているのではないか。取組の効果が出ているのではないか。</li> <li>・脳血管疾患 血圧に関する者を減らせるのではないか。</li> <li>・CKD に力を入れている。糖尿病と同じくらい多いと言われている。</li> <li>・健康状態不明者の把握で心配なし 41 名。年 1 回のアプローチではなく、この人がフレイルにならないよう踏み込んだアプローチがあるとよいのでは。</li> <li>・栄養改善事業では 8 割が体重維持できているのは素晴らしい。評価はどうか。</li> <li>・平均寿命は少しずつ延びているが、男性が少しずつ短くなっている。それはなぜか。</li> <li>・フレイルをなんとかつぶしていくことが佐渡の医療事業である。</li> </ul>
委員 B 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市の健康教育で話を聞いて、歯を診てもらおうと受診につながっている。定期健診は大事と言われ、自ら希望して受診している。口の中の健康や、ちゃんと食べたいと食に関心をもっている。</li> <li>・歯科医師会では、佐渡市でやっていることを知らない人が多いのではないか。みんなに披露したいので、簡単な 2～3 枚の資料があるとよい。</li> <li>・歯科健診もしている。割合もどうか。健康医療対策課に聞きたい。</li> <li>・今後も協力していきたい。</li> <li>・子どもや若い保護者から健康意識を高めていけば、フレイル等も減るのではないか。生涯を通じて健康教育が必要。</li> <li>・地域の交流として運動会があると面白い。尾花では運動会を復活している。活発に交流できるとよい。</li> </ul> <p>→歯科健診 R2 235 人 R3 141 人 R4 174 人 約 11%が受診している。(意見交換後、保険年金係より回答)</p>
委員 C 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動とすると、歩いていた患者が杖をついてきた。そのことを主治医、家族に報告することはできる。</li> <li>・精神科が隣接しているため、食欲増進の服薬指導で注意して見ることができる。主治医、関係者に報告し、連携することができる。</li> <li>・佐渡市の取組のパンフがあれば、会員に周知することができる。</li> <li>・こまめに患者に接することができる。</li> <li>・相談いただければ、薬剤師会としてお手伝いできる。</li> </ul>
委員 D 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加できる方への介護予防事業を実施している。</li> <li>・人と接し、言葉を交わすことが大事であり、コミュニケーションがとれず、認知症が進む人もいる。</li> </ul>

委員 E 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味をもち、外へ出ていくことが大事。</li> <li>・個人的に、冬場は外に出づらいが、ウォーキングをしない代わりに、階段を2～3往復して孫を起こす。面倒だが動く機会になる。</li> <li>・主治医に年2回歯科健診するとよいと言われる。だから食事がしっかり食べられる。</li> </ul>
委員 F 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル相談を実施している。健康相談で来所する方は一定数おり、通所型サービスCへつながる。</li> <li>・包括も出かけていき、相談を受けることも大切だと感じる。フレイル相談は今後も継続していく。</li> </ul>
委員 G 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員は見守りをする立場にあり、特に1人暮らしの方を中心に行っている。地震もあり、好奇心がなくなると、家に閉じこもってもいいのかなと思ってしまう。外へ出したい。家にはだめだと言うが、脳の衰退で消極的になる。</li> <li>・小規模多機能型居宅介護ささえ愛あいの山の施設があるが、送迎をしてほしいという希望があり相談し、「あいの山」の協力を得ることがある。病院受診や買い物に行きたいがタクシーでは高い。折り合いをどうするか。「あいの山」に申込みと、契約の中で(1～4人位希望がいる。)玄関から玄関まで安く、安全にできる方法で取り組んでいる地区もある。</li> <li>・茶の間で保健師、栄養士から分かりやすくフレイル予防について、話してもらうことで茶の間に行きたくなるという効用もある。</li> <li>・心配は男性で茶の間に来ることもない。何か責任があると参加するが、それ以外は出ない。老人会にも男性は参加しない。男性は趣味が無い方もおり、家で何をしているのか将来が心配。</li> </ul>
委員 H 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3食バランスよく食べよう」と、朝ごはんレシピを作成し、農協等に置かしてもらった。金井地区でも作ろうと話したが、完成には至っていない。「体を動かそう、お口をきれいにしよう」と3本柱で取り組んでいる。</li> <li>・朝ごはんを食べないのはなぜか。</li> <li>・しゃきっと教室、茶の間のボランティアをしているが、どうして男性は参加しないのか。茶の間でもどう誘ったらいいのかなと話題にあがる。町内会、総会では男性が参加するが、しゃきっと教室や茶の間には男性が参加しない。どうしたらよいか。</li> <li>・1人ではなかなか運動はしないので、階段は良いアイデアと感じる。健幸階段で消費カロリーが分かるのが良い。</li> </ul>

<p>佐渡地域振興局課長代理</p>	<p>んど。多くの方に参加してもらい、解散にならないようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数年前からX先生の筋トレに参加。元気館で週2回行く。夫婦参加は2組程度。体操はいろんな方と話ができるし、懐かしい方と会うこともできるのでいい機会となる。</li> <li>・高齢期の食支援事業として、佐渡市高齢福祉課と連携して取り組みを行っている。引き続き、佐渡市と連携しながら取り組みを行っていきたい。</li> <li>・フレイル予防に取り組んでいるが、同じ職場であっても取り組みを知らない人もいる。一生懸命取り組んでいるが、周知が十分でなく、引き続き関係者が意識的にフレイル予防について周知していく事が重要と考える。</li> </ul>
<p>健康医療対策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査、健康相談、健康学習会等を実施している。個別指導、地域単位での両輪の取り組みが大切。</li> <li>・若い世代から健康意識を高めることが大切と考えますので、若い方の意識向上に取り組んでいきたい。</li> </ul>
<p>社会福祉課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方、外に出づらい方を対象に、「やすんでみんなかっちゃ」の事業名で居場所作りや社会参加する場を作っている。参加者は30～60代で、健診の受診勧奨、ラジオ体操（運動の習慣づくり）などを実施している。活用できる事業で健康増進、介護予防につながる取り組みを連携してできればと思う。</li> </ul>
<p>高齢福祉課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢福祉課では介護予防などに取り組んでいる。食支援事業のお弁当コンテストは終了するが、健康学習会で調理実習を再開することを検討。令和5年度からはいきいきおでかけ応援事業を実施。単体でできる事業ではないので、庁内では協力を得ながら視野を広げて取り組む必要がある。意識の低い方や出ない方をどうするのか、永遠のテーマである。</li> </ul>
<p>地域づくり課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落の高齢化率 570行政区のうち390行政区が限界集落であり、集落運営が難しい。限界集落、地域力低下、力を維持する取り組みとして事業を実施している。まつりなどの人と人との交流の場もコロナの影響でなくなった。人と人が会わず、つながりが減ることで健康づくりにも影響が出てくるのではないかと。元気な地域づくり、地域コミュニティ交付金があるので、活用していただきたい。地域課題を解決するために地域で取り組み、人と人が健康でいられる場をつくるのが重要です。</li> </ul>
<p>社会教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の公民館事業、スポーツの提供をしている。高齢者学級（座</li> </ul>

	<p>学、運動：ウォーキング教室、エクササイズ教室）に保健師に来てもらう。スポーツ推進委員が体を動かす。いろんな活動のきっかけを作るのが課の目的。70歳になっていきなりはできない。だから、小学校からスポーツし、成人期になってもスポーツを継続できるように取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンディングの事業をするとよい。心豊かに過ごしてもらいたい。</li> <li>・博物館もある。</li> <li>・自分自身が区長になり、社会福祉協議会に説明に来てもらった時も、色々な活動などがありすごく関心を持った。色々な情報があるとやる気持ちになる。</li> <li>・敬老会で話をする。男性の来ない人には迎えに行くに来てくれる。女性は仲間から声かけてもらうのが良い。</li> <li>・社会参加へ啓発、色々な人との繋がりを伝えていきたい。</li> <li>・昨年5月に1000人ラジオ体操を実施した。今後もラジオ体操を普及させたい。健幸ぽいんと事業でグループ単位で取り組む。月1回ラジオ体操をしている集落もある。分館長会議では活動の起点となるよう説明していきたい。</li> </ul>
委員B氏	<p>新潟県はコロナで死亡者が少ない。在宅死亡者は0人だった。オール佐渡でコロナ対策をしている。オール佐渡で取り組むと成果が出るのではないかな。</p>
市民課長	<p>4. 閉会</p> <p>医療費の適正化も目標の1つである。佐渡市の平均自立期間は県内でも下の方にある。色々な取り組みの数字データを市民や関係者に見せる必要がある。病気の早期発見、早期治療のために、健診でチェックしてもらうことや、社会参加の必要性など、団体を通じて意識して伝えていく工夫も必要と考える。今回、参集いただいた皆様からも引き続きご協力をお願いしたい。</p>